

公衛協の発信力強化へ 計画的に人材育成を

環保協では、公衆衛生推進委員の力量形成および組織強化を図るため、年間を通じて各種研修会を企画実施しています。中でも「専門研修」は、テーマを特定して専門的な知識技術が習得できるよう計画しており、「基礎研修の開き方」「野外活動安全管理」「広報ツールづくり」「企画づくり」の4つのコースを予定しています。

7月27日(広島会場)・30日(福山会場)に、「広報・ツールづくり」コースを開催しました。この研修のねらいは、広報ツールづくりのノウハウの習得、広報リーダーの養成、広報力の強みや弱みを確認することです。5市町公衛協から広報に携わる推進委員11人が参加しました。



他団体が発行する公報や広告を参考に、色使いやフォントなど、見せ方を比較(上)。作成した課題を発表し、参加者同士で意見交換(下)

写真の取り方や配置のポイント、色使い、フォントの違いなども学びました。公衛協の活動を地域

住民にもっと知ってもらい、参画いただくためには、見て分かる活動が展開されていること、その活動の案内や結果が周知されていることが重要です。公衛協のPR力を高めるため、積極的にこの事業を活用し、計画的に人材育成に取り入れたいです。(地域活動支援センター)

プログラムは、座学と実習を交えて展開し、参加者は広報物を1点作成して発表しました。前半では、「広報とは何か」「他団体の広報や事業所の広告チェック」「我がまちの公衛協の広報物の棚卸し」を通して、強みや弱みを振り

考える、つくり方が変わってくるなど感想が聞かれました。午後からは、「公衛協だより」「事業報告」「参加募集」の3テーマから1つを選択し、実際に広報物を作成し、発表しました。発表後は、「これは面白い」「主催をしつかり強調したほうがいい」など6W2Hが入っているか、どんな工夫が図れるかなど、活発な意見交換がありました。

また、より魅力的にするために」と題して、

「家庭の省エネ 成功事例募集事業」

あなたの成功事例を教えてください

脱温暖化センターひろしまは、家の改築や家電の買い替え、日々の省エネ取り組みなどで、電気・ガス使用量の大幅な削減に成功した事例を募集します。優良事例は、温室効果ガスの排出抑制に向けた住民活動を活性化する普及啓発事業に役立てます。

対象期間は平成24年から平成27年10月まで、応募資格は応募内容が啓発資料に活用されることに同意する広島県在住の方です。

●応募の概要●

締め切り:平成27年10月31日(当日消印有効)

入選発表:平成28年1月31日、入選者に通知してホームページに掲載。

応募方法:①指定の応募用紙に必要事項を記入

- ②電気・ガス使用量が大幅に減少した月とその前後1カ月(全部で3カ月)及び前年同月の電気使用量通知書及びガス消費記録(全部で3カ月)を添付する(コピー可)。※詳細は、当協会HPをご確認ください。

優れた省エネ事例は、脱温暖化推進員フォーラム(2月)で、金賞1点(副賞5万円)、銀賞2点(副賞3万円)、銅賞5点(副賞1万円)を表彰します。選外でも、応募要件を満たす方には1,000円のクオカードを進呈します。なお、いただいた個人情報のうち、氏名、居住市町、家族人数、省エネ情報以外は公表しません。

1万人のエコチェック事業 省エネ実践と記帳のご案内

8月から9月は、1万人のエコチェック事業の省エネ実践月間です。公衆衛生推進委員の皆さまは、8月の検針日を確認して、家族で省エネに挑戦し、エネルギーの無駄遣いがないかチェックしてみましょう。なお、省エネ実践項目は、公衆衛生推進手帖P122・123に例を掲載しています。

チェックの方法は簡単です。中国電力から送付される『電気使用量のお知らせ』とエコチェックカードを準備してください。電気使用量のお知らせには、該当検針期間の電気使用量・前年同月・前月・電気使用量が示されています。エコチェック

カードの電気欄に必要事項を転記してください。

ステップアップ編に取り組む公衛協は、ガス・水道・ガソリン・灯油など各公衛協で定めたエネルギーの記録にも挑戦しましょう。

記入されたエコチェックカードは、市町公衛協事務局へ提出をお願いします。



平成27年度 地区衛生組織活動資金募集



通称

『環境・健康募金』

環境・健康募金(旧 健康感謝募金)は、昭和35年から実施し、平成27年度で56回目を迎えました。集まった募金は、募金委員会によって適正に配分され、各市町公衛協の活動資金として地域社会に役立てられています。

環境・健康募金
総額(円)
22,588,112

市町名	募金額(円)	達成率(%)
呉市	0	0.0
府中町	1,272,500	114.7
海田町	1,960,000	311.5
熊野町	1,416,000	269.3
坂町	0	0.0
江田島市	1,861,000	287.1
竹原市	0	0.0
大崎上島町	0	0.0
大竹市	0	0.0
廿日市市	2,569,840	161.7
廿日市市佐伯	352,200	145.0
廿日市市吉和	0	0.0
廿日市市大野	2,536,000	432.3
廿日市市宮島	208,918	457.2

市町名	募金額(円)	達成率(%)
安芸太田町	0	0.0
北広島町	0	0.0
安芸高田市	649,600	95.9
東広島市	4,393,343	110.7
三原市	1,289,960	58.8
世羅町	600,700	174.0
尾道市	2,830,950	87.8
福山市	0	0.0
府中市	0	0.0
神石高原町	0	0.0
三次市	422,704	35.7
庄原市	156,900	19.7
その他	66,897	—
合計	22,588,112	61.3

環境・健康募金の配分比率が変わりました。

<配分方法>	<配分金の用途>
市町公衛協配分金	目標額の70% + 突破額
環保協配分金	目標額の25%
事務費配分金	目標額の5%

※目標額は世帯数を元に設定

6月18日に開催された平成27年度第1回募金委員会で変更が決定しました。
市町公衛協配分金: 目標額の65%+突破額 → 目標額の70%+突破額
事務費配分金: 目標額の10% → 目標額の5%

事務費配分金の用途

- 募金PR用ポスター・チラシ・卓上のほり、募金回収用封筒の作成
- 振込み手数料(公衛協事務局や募金委員会) など

市町別一覧表(平成27年7月末現在)

※この表は、平成27年7月末までに市町公衛協事務局から募金委員会に振込みのあった実績額を示しています。